

立志式に寄せて

本日はお忙しい中、「第7回 城東中学校 立志式」にお越しいただきありがとうございます。

平成17年、18年に生まれて約14年が経ちました。保護者の皆様におかれましては、今日のお子様の姿を見て、「大きくなったなあ」「成長したなあ」「大人になったなあ」と、感慨もひとしおと存じます。

生徒の皆さんは、本日「立志式」を迎えます。辞書には、立志式について、「元服にちなんで（数え年の）15歳を祝う行事。参加者は、将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深める。（三省堂大辞林より）」とその目的が書かれています。立志式は、奈良時代の「元服の儀」に由来し、今の「成人式」に当たります。当時は「立春」の日に行われていたことから、「立春式」とも言われていましたが、最近では、「立志式」という名称が多く使われています。「立志」とは、将来の目的を定めてそれを成し遂げようと決意することです。義務教育も残り一年となる皆さんには、今日の日を、自分のこれからの人生を考える一つの節目の日にしてほしいと思います。そして、昔から「十五にして学を志す」と言われてきたように、やがて15歳になる皆さんが自分の生き方を学び、これからも学び続けていくんだという決意を固める大事な行事にしてほしいと願っています。

まもなく皆さんは中学3年生になります。学校では下級生から見られる立場になります。地域の方や社会からは「城東中学校の顔」として見られます。城東中学校3年生としての考え方や行動が要求され、期待されています。今日はその覚悟をする日とも言えます。

本日は、生徒全員が、将来に向けて志を立て、決意を表明します。ぜひお聞きください。そして、変化が激しく厳しい世の中に立ち向かっていく生徒たちに、これからの未来が輝いたものになるようエールを送ってあげてください。

本校は、地域や保護者の方々のご支援を受けて『タンポポ魂』の育成を教育理念に掲げ、教育活動を展開しています。タンポポの花言葉のように、「自分の幸せを求めながら人の幸せも考える」ことができる、そんな素敵な大人に成長してほしいと願っています。

今後とも、より良い学校づくり、地域づくりのために、ご支援よろしくお願い申し上げます。

令和2年2月8日

高知市立城東中学校 教職員一同